

温かい気持ちになる研修でした。

チーム指導課! あふれる地域授業改善協議会でした

4月23日(金)、指導課による管内の教頭先生を対象とした研修(協議会)が実施されました。企画した野崎指導主事をはじめ指導課が一体となって取り組んだおかげで、参加された方々も笑顔があふれる時間となりました。この会で私も以下のことを学びました。

① 強みを活かす!

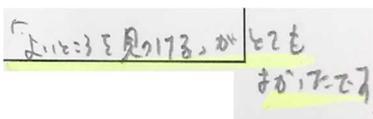
「私はこう見えても音楽が専門で・・・」と、「『学校評価の4点セット』と『授業改善の5点セット』の関連」という少し堅い内容を、野崎指導主事は常に笑顔で説明していました。参加された方々が特に熱心に聞いていた場面は、「ふるさと」の曲(2部形式)の指導を例えて単元の指導計画の作成手順を示した時でした。

県教委が示したことをなぞるだけでなく、難しい内容ほど自分の言葉で語ることや、このことに取り組んだら、子ども達の良さが発揮され、こんなことが実現できる!というようなワクワク感(達成イメージ)を伝えることの大切さを学びました。

② 真剣に読ませるために「良いところ」を発見させる

協議では、他校の例を参考にさせるために、あえて他校の「良いところ」を発見させるようにしました。そのため、参加された方は熱心に読まれ、その後の協議も大変盛り上がりしました。

動物は生きる本能から、相手の弱いところを見つけそこを攻撃するのは得意



だそうです。だから、相手の欠点は目につきやすくなるのですが、良いところを探すためには、かなり五感や頭を使います。

頭をつかって、しっかりと読んで発見したことは、相手に伝えたくなくなります。そして、周りから良さや価値を伝えられると自信につながります。アンケートからも、「今後の意欲がわいてきた」は、4.0(4段階) 最高値!

③ 参加者から学ぶ

現場には、「子どもを主語に」と言っています。研修では、参加者が主語です。参加者が、何を求め、なにに悩んでいるのか。それぞれの声を聞き、活かしながら、次に活かすことの大切さを学びました。

今日は、しっかり学び、しっかり笑顔に「なれました」。事務所の指針である、理念や規範を実践を通じ実感できました。今後は、教頭として、今日学んだことを学校の先生方に広げていきたいです。子どもの笑顔があふれるように、先生方を笑顔にしていきたいです。(4点セットは見直ししたいと思います) トランプカードが



NO.1 2021年4月 地域授業改善協議会

創造する時間

伝えたい人がいる。
学びたい人がいる。
研修は共につくる。



NO.3 2021年4月 地域授業改善協議会

価値を伝える

相手の良さを伝えると、その人だけでなく、周りの人も笑顔になる。



NO.4 2021年4月 地域授業改善協議会

マスクの下は笑顔

口元は見えなくても、うれしい気持ちは伝わりますね。